

2021年3月期業績目標の修正について

2020年11月13日に公表しました2021年3月期の「親会社株主に帰属する当期純利益」目標^[1]につきまして、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

なお、2021年3月期における期末配当予想（期末配当1株当たり12.5円、年間配当1株当たり25円）に関する修正はございません。

1. 2021年3月期（2020年4月1日～2021年3月31日）

	親会社株主に帰属する当期純利益
前回発表目標（A）	6,000億円
今回修正目標（B）	7,500億円
増減額（B-A）	1,500億円
増減率	25.0%
前期実績（2020年3月期）	5,281億円

2. 修正の理由

堅調な業績の進捗に伴う業務純益の増加（「親会社株主に帰属する当期純利益」に与える影響約500億円）や株式相場の上昇を背景とした株式関係損益の改善（同約300億円）に加え、持分法適用関連会社であるMorgan Stanleyに関わる持分法投資損益および持分変動差益の増加（同約700億円）などが見込まれることを踏まえ、全体では業績目標を1,500億円上方修正し、7,500億円とするものです。

3. 決算発表予定日

2021年5月17日（月）

[1] 2021年3月期業績目標の修正について

https://www.mufig.jp/dam/pressrelease/2020/pdf/news-20201113-001_ja.pdf

以 上

本資料には、当社または当社グループの業績、財政状態に関する予想、見通しなどの将来に関する記述が含まれています。かかる記述は、現時点における予測、認識、評価等を基礎として記述されています。また、将来の予想、見通しなどを作成するためには、一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし前提（仮定）は、その性質上、将来そのとおりに実現するという保証はなく、客観的には不正確であったり、実際の結果と大きく乖離したりする可能性があります。そのような事態の原因となりうる不確実性やリスク要因は多数あります。その内、現時点において想定し得る主な事項については、最新の決算短信、有価証券報告書、ディスクロージャー誌、Annual Reportをはじめとした当社の公表済の各種資料をご参照下さい。